

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

社会に貢献し、お客様に必要とされる存在であり続ける

② 中長期の経営戦略

1. 基礎収益力の強化

テナント賃料適正化、ファンド・ビジネスやノンアセット・ライトアセットビジネス拡大で新たな収益柱を育成

2. アセット・アロケーションの最適化

地方中核都市圏へ拡大、賃貸住宅・データセンター・ホテルへセクター展開。既保有資産の戦略的入れ替えで含み益顕在化

3. 企業風土改革

オペレーション改革・DX推進で属人化解消と生産性向上。暗黙知を形式知に置き換え個人と組織のパフォーマンス最大化

4. 財務規律の徹底

適切な財務レバレッジで戦略投資を犠牲にしないバランスシート・コントロール。財務規律と利益成長の両立

③ 対処すべき課題

① 市場環境への適応

- ・金利先高感による事業の足踏みに対応
- ・建築費高騰と用地取得困難への対処
- ・人口減少による需要縮小と労働力不足への準備

② 事業ポートフォリオの強化

- ・首都圏賃貸オフィス市場の空室率低下と賃料上昇対応
- ・ノンアセット・ライトアセットビジネスによる資本効率向上
- ・海外を含めた新規事業領域の獲得

③ 組織基盤の進化

- ・社員一人ひとりの自律性と視座向上
- ・外部パートナーとの共創推進
- ・DXとオペレーション改革によるノウハウ継承

面接で使えるポイント

- ・自己資本比率・ネットD/Eレシオなど定量指標を重視し、攻めと守りのバランスを取った経営方針
- ・地方中核都市圏やデータセンター・ホテルなど新セクターへの戦略的展開で、インフレ耐性のあるポートフォリオ構築
- ・「不易流行」の基本指針で、過去から学びつつ時世に先取りした新たな付加価値創出を目指す姿勢

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
393億円営業利益率
17.8%財務健康度
47点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 42.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

